

# 秋田県内中小企業景況調査結果

(2019年7～9月期)

秋田県商工会議所連合会

## 〈内容〉

- I. 全産業の項目別DI値
- II. 産業別DI値
- III. 地域別DI値
- IV. 産業別設備投資
- V. 地域別設備投資
- VI. 経営上の問題点
- VII. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。  
(▲: マイナス)

## 〈参考〉県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

## 〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	31 (77.5%)
製造業	40	31 (77.5%)
卸売業	40	30 (75.0%)
小売業	40	32 (80.0%)
サービス業	40	33 (82.5%)
合計	200	157 (78.5%)

地域	対象企業数	有効回答企業数
県北	50	30 (60.0%)
県央	75	70 (93.3%)
県南	75	57 (76.0%)

## I. 全産業の項目別DI値

### 1. 業況

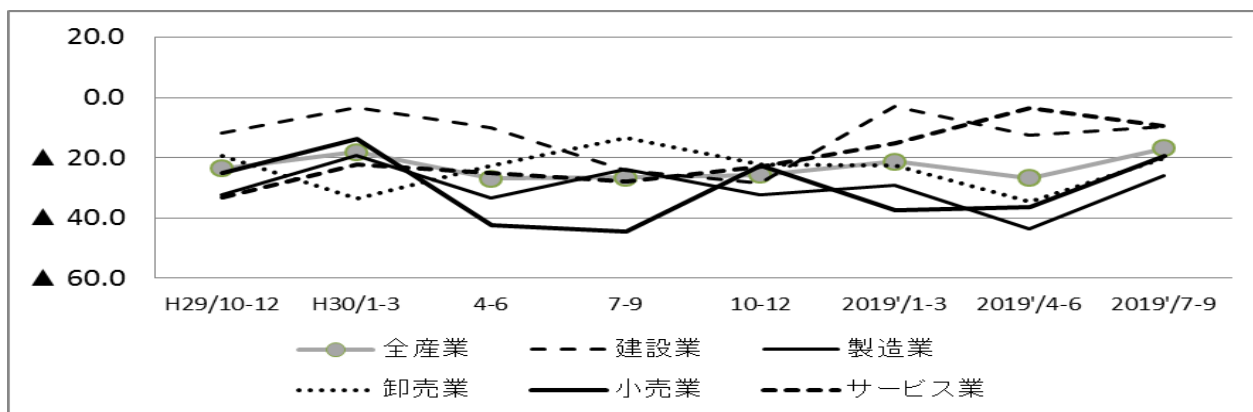
今期(7~9月)の業況DI値は、全産業で▲16.8と前期比で改善した。

産業別では、製造業、小売業、卸売業、建設業が改善した。特に製造業、小売業、卸売業は、それぞれプラス17.9ポイント、プラス17.1ポイント、プラス14.5ポイントと大幅に改善した。一方、サービス業は悪化した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲24.0と今期比で悪化を見通している。

産業別では、小売業、サービス業、建設業、卸売業で悪化を見通している。特に小売業は、マイナス32.3ポイントの▲51.6と厳しい状況を見通している。なお、小売業が▲50.0を下回るのは、平成29年1~3月期の▲53.5以来となる。一方、製造業はプラス16.1ポイントと大幅に改善する見通しをしている。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月)		(C)-(A)	(D)	来期見通(10~12月) 今期比
		(B)				
全産業	▲26.8	▲24.8	▲16.8	10.0	▲24.0	-7.2
建設業	▲12.5	▲9.4	▲9.7	2.8	▲13.4	-3.7
製造業	▲43.7	▲24.2	▲25.8	17.9	▲9.7	16.1
卸売業	▲34.5	▲31.0	▲20.0	14.5	▲23.3	-3.3
小売業	▲36.4	▲34.4	▲19.3	17.1	▲51.6	-32.3
サービス業	▲3.7	▲25.9	▲9.4	-5.7	▲21.9	-12.5



### 2. 売上額・完成工事額

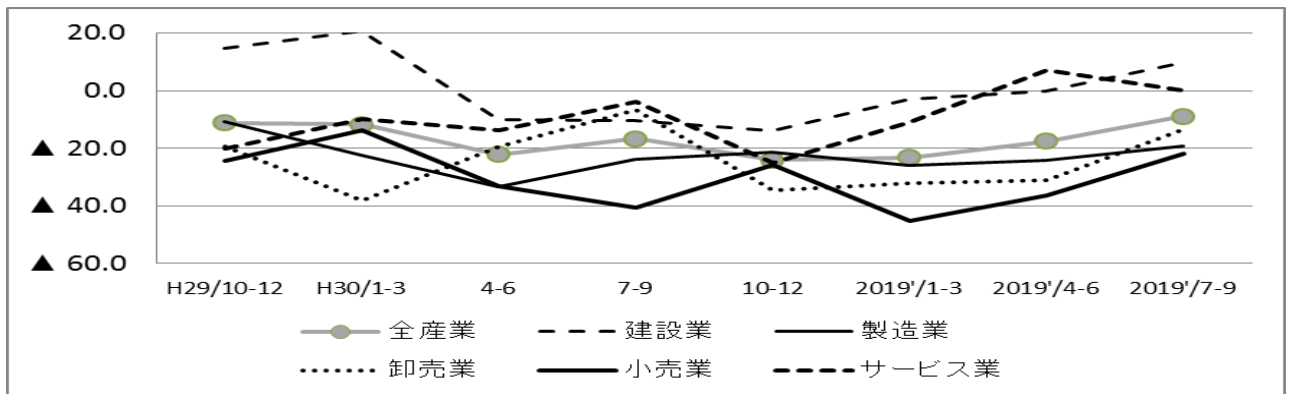
今期(7~9月)の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲9.0と前期比で改善した。

産業別では、建設業がプラス幅を拡大、卸売業、小売業、製造業が改善した。特に卸売業、小売業はそれぞれプラス17.6ポイント、プラス14.4ポイントと大幅に改善した。一方、サービス業はプラス幅を縮小した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲23.5と今期比でマイナス14.5ポイントの大幅な悪化を見通している。

産業別では、建設業がプラス幅を縮小し、今期のプラスからマイナスへ転じる見通しをしている。小売業、卸売業、サービス業は悪化を見通している。特に小売業はマイナス40.6ポイントの▲62.5と大幅に悪化の見通しをしている。なお、小売業が▲50.0を下回るのは、平成29年1~3月期の▲53.6以来となる。一方、製造業はわずかな改善の見通しをしている。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 17.5	▲ 17.6	▲ 9.0	8.5	▲ 23.5	-14.5
建設業	0.0	▲ 3.1	9.7	9.7	▲ 3.2	-12.9
製造業	▲ 24.3	▲ 15.2	▲ 19.3	5.0	▲ 16.1	3.2
卸売業	▲ 31.0	▲ 27.6	▲ 13.4	17.6	▲ 26.7	-13.3
小売業	▲ 36.3	▲ 31.3	▲ 21.9	14.4	▲ 62.5	-40.6
サービス業	7.2	▲ 10.7	0.0	-7.2	▲ 9.1	-9.1



### 3. 資金繰り

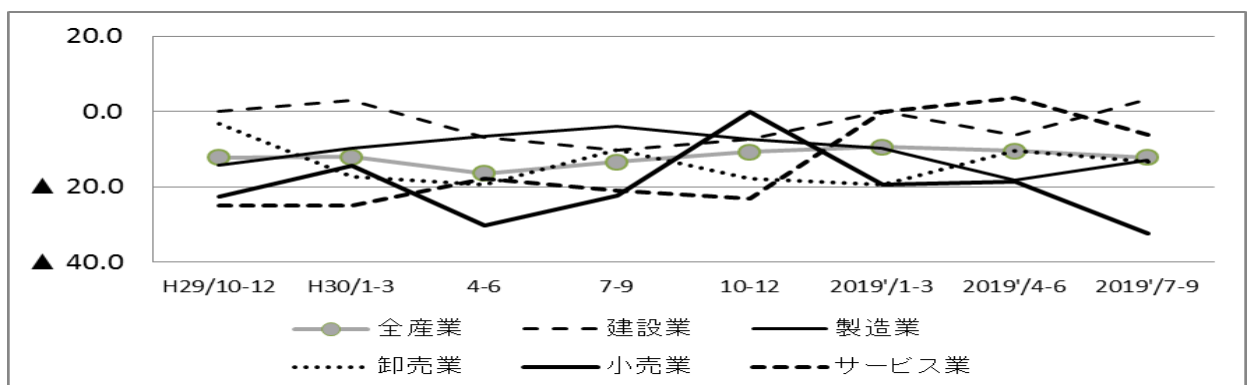
今期(7~9月)の資金繰りDI値は、全産業で▲12.2と前期比でわずかに悪化した。

産業別では、小売業、サービス業、卸売業が悪化した。特に小売業はマイナス13.6ポイントと大幅に悪化した。一方、建設業、製造業は改善した。特に建設業は前期のマイナスからプラスに転じた。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲19.3と今期比で悪化を見通している。

産業別では、建設業がマイナス25.8ポイントと大幅にプラス幅を縮小し、今期のプラスからマイナスに転じる見通し。小売業、サービス業は悪化を見通している。一方、製造業、卸売業は改善を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 10.4	▲ 11.2	▲ 12.2	-1.8	▲ 19.3	-7.1
建設業	▲ 6.3	▲ 6.2	3.2	9.5	▲ 22.6	-25.8
製造業	▲ 18.2	▲ 12.1	▲ 12.9	5.3	▲ 6.5	6.4
卸売業	▲ 10.3	▲ 17.2	▲ 13.4	-3.1	▲ 10.0	3.4
小売業	▲ 18.7	▲ 12.9	▲ 32.3	-13.6	▲ 43.4	-11.1
サービス業	3.7	▲ 7.4	▲ 6.1	-9.8	▲ 15.1	-9.0



#### 4. 受注残(未消化工事高)

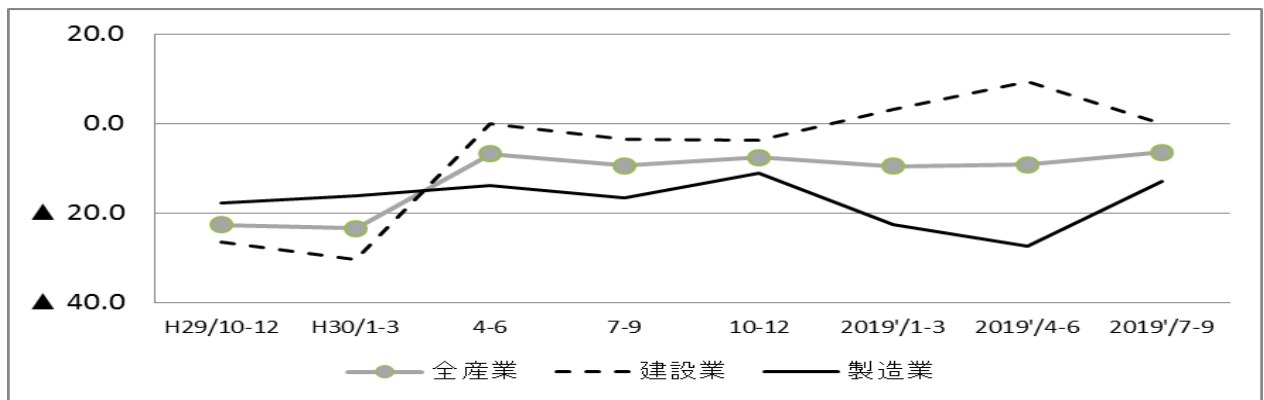
今期(7~9月)の受注残 DI 値は、全産業で▲6.4 と前期比でわずかに改善した。

産業別では、製造業はプラス 14.4 ポイントと大幅に改善する一方、建設業はプラス幅を縮小し、0 となった。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲17.7 と今期比で大幅な悪化を見通している。

産業別では、製造業、建設業とも悪化を見通している。特に製造業はマイナス 12.9 ポイントと大幅な悪化を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 9.2	▲ 10.8	▲ 6.4	2.8	▲ 17.7	-11.3
建設業	9.4	0.0	0.0	-9.4	▲ 9.6	-9.6
製造業	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 12.9	14.4	▲ 25.8	-12.9



#### 5. 採算(経常利益)

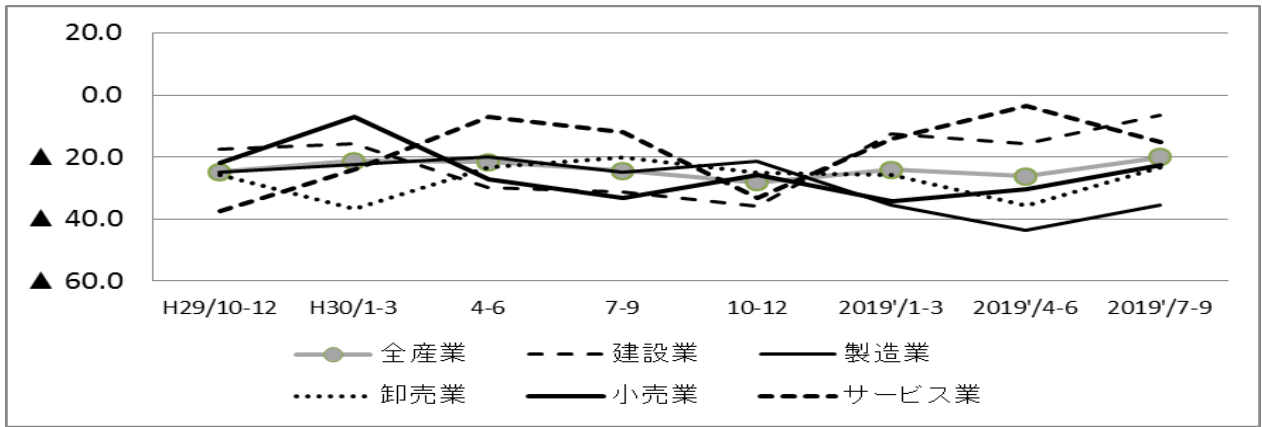
今期(7~9月)の採算 DI 値は、全産業で▲20.6 と前期比で改善した。

産業別では、卸売業、建設業、製造業、小売業が改善した。特に卸売業はプラス 12.5 ポイントと大幅に改善した。一方、サービス業は大幅に悪化した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲23.0 と今期比でわずかな悪化を見通している。

産業別では、サービス業が横ばい、小売業、建設業、卸売業で悪化を見通している。特に小売業はマイナス 25.8 ポイントの大幅な悪化を見通す一方、製造業はプラス 22.6 ポイントの大幅な改善を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 26.2	▲ 18.9	▲ 20.6	5.6	▲ 23.0	-2.4
建設業	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 6.7	8.9	▲ 12.9	-6.2
製造業	▲ 43.7	▲ 24.2	▲ 35.5	8.2	▲ 12.9	22.6
卸売業	▲ 35.8	▲ 24.2	▲ 23.3	12.5	▲ 26.7	-3.4
小売業	▲ 30.3	▲ 31.2	▲ 22.5	7.8	▲ 48.3	-25.8
サービス業	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.2	-11.6	▲ 15.2	0.0



6. 従業員(含む臨時)

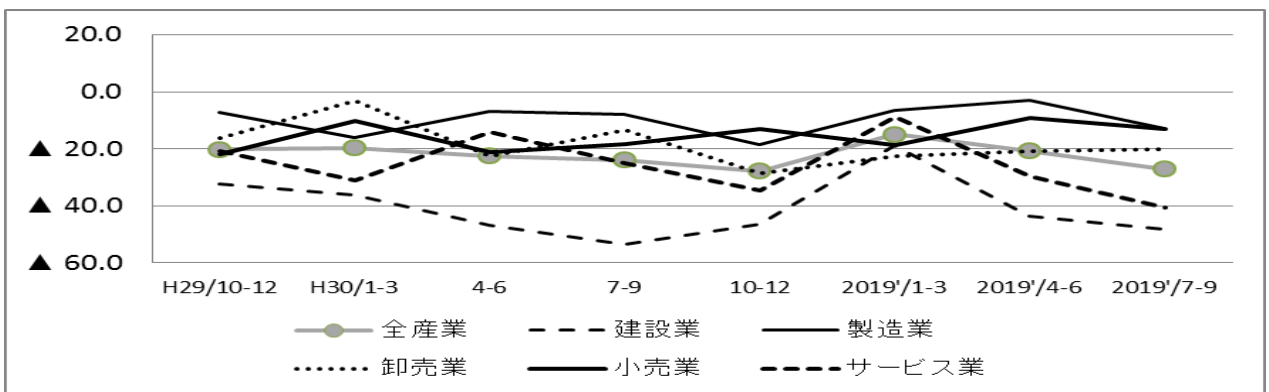
今期(7~9月)の従業員DI値は、全産業で▲27.1と前期比で不足感を拡大した。

産業別では、サービス業、製造業、建設業、小売業が不足感を拡大した。一方、卸売業はわずかに不足感を縮小した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲26.4と今期比でわずかな不足感の縮小を見通している。

産業別では、建設業、製造業、サービス業で横ばい、卸売業が不足感の縮小を見通す一方、小売業は不足感の拡大を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通		(C)-(A)	(D)	来期見通(10~12月)
		(7~9月)				(B)
全産業	▲ 20.8	▲ 25.5	▲ 27.1	-6.3	▲ 26.4	0.7
建設業	▲ 43.8	▲ 50.0	▲ 48.4	-4.6	▲ 48.4	0.0
製造業	▲ 3.0	▲ 6.0	▲ 12.9	-9.9	▲ 12.9	0.0
卸売業	▲ 20.7	▲ 20.7	▲ 20.0	0.7	▲ 13.3	6.7
小売業	▲ 9.1	▲ 18.7	▲ 12.9	-3.8	▲ 16.1	-3.2
サービス業	▲ 29.6	▲ 33.3	▲ 40.6	-11.0	▲ 40.7	-0.1



## II. 産業別DI値

### 1. 建設業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲9.7と前期比でわずかに改善した。

項目別では、完成工事額がプラス幅を拡大、資金繰り、採算が改善した。特に資金繰りは、前期のマイナスからプラスに転じた。一方、受注残はプラス幅を縮小した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「完成工事額について、消費税増税前の若干の影響があるのか増加した」【塗装工事業】とのコメントがある一方、「工事件数の減少による完成工事額減少」【建設業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲13.4と今期比で悪化を見通している。

項目別では、すべての項目で悪化を見通している。特に資金繰りはマイナス 25.8 ポイントと大幅に悪化し、今期のプラスからマイナスへ転じる見通しをしている。従業員は横ばいを見通している。

企業からは、「数年前の災害工事が終わり、今回の他県での災害状況により全国的な見直し工事が出てくるのでは?」【一般土木建築工事業】、「昨年が受注過多、未消化工事の状態だったが、是正され、適正な状態に戻りつつある。人手不足は相変わらず深刻だ」【板金工事業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.7	2.8	▲ 13.4	-3.7
完成工事額	0.0	▲ 3.1	9.7	9.7	▲ 3.2	-12.9
資金繰り	▲ 6.3	▲ 6.2	3.2	9.5	▲ 22.6	-25.8
受注残	9.4	0.0	0.0	-9.4	▲ 9.6	-9.6
採算(経常利益)	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 6.7	8.9	▲ 12.9	-6.2
従業員(含む臨時)	▲ 43.8	▲ 50.0	▲ 48.4	-4.6	▲ 48.4	0.0

### 2. 製造業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲25.8と前期比でプラス 17.9 ポイントと大幅に改善した。

項目別では、すべての項目で改善した。特に受注残はプラス 14.4 ポイントと大幅に改善した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「昨年の記録的な猛暑による需要減の裏返しと、10月の消費税増税前の仮需などプラス材料はあったものの、業務用の低迷や日韓関係悪化による輸出の減少と相殺され、前年比微増で着地するに至った」【清酒製造業】とのコメントがある一方、「大型物件の減少による売上減少」【印刷業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲9.7と今期比でプラス 16.1 ポイントと大幅な改善を見通している。

項目別では、採算、資金繰り、売上額で改善を見通している。特に採算はプラス 22.6 ポイントと大幅な改善を見通している。一方、受注残は悪化を見通している。従業員は横ばいを見通している。

企業からは「年末に向けて例年通り需要が増加する予定で、既に年内~年明けの受注は確定済」【金属製品製造業】とのコメントがある一方、「ヘビーユーザーの高齢化による市場縮小基調に加え、消費税増税による消費者の買い控えや度重なる台風災害が及ぼす消費への悪影響が懸念される」【清酒製造業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 43.7	▲ 24.2	▲ 25.8	17.9	▲ 9.7	16.1
売上額	▲ 24.3	▲ 15.2	▲ 19.3	5.0	▲ 16.1	3.2
資金繰り	▲ 18.2	▲ 12.1	▲ 12.9	5.3	▲ 6.5	6.4
受注残	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 12.9	14.4	▲ 25.8	-12.9
採算(経常利益)	▲ 43.7	▲ 24.2	▲ 35.5	8.2	▲ 12.9	22.6
従業員(含む臨時)	▲ 3.0	▲ 6.0	▲ 12.9	-9.9	▲ 12.9	0.0

### 3. 卸売業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲20.0と前期比で大幅に改善した。

項目別では、売上額、採算がそれぞれプラス17.6ポイント、プラス12.5ポイントと大幅に改善した。一方、資金繰りは悪化した。従業員はわずかに不足感を縮小した。

企業からは、「軽減税率対応でシステムの買い替えが多かった」【電気事務機械器具卸売業】とのコメントがある一方、「箱物の公共工事の減少が続いている。民間の設備投資も停滞している」【電気工事材料卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲23.3と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額、採算で悪化を見通している。特に売上額はマイナス13.3ポイントと大幅な悪化を見通している。一方、資金繰りは改善を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「仕入価格と運賃の上昇による採算の悪化を見込む」【左官資材卸売】とのコメントがある一方、「Windows7のサポート終了によるパソコンの買い替えが多い」【電気事務機械器具卸売業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 34.5	▲ 31.0	▲ 20.0	14.5	▲ 23.3	-3.3
売上額	▲ 31.0	▲ 27.6	▲ 13.4	17.6	▲ 26.7	-13.3
資金繰り	▲ 10.3	▲ 17.2	▲ 13.4	-3.1	▲ 10.0	3.4
採算(経常利益)	▲ 35.8	▲ 24.2	▲ 23.3	12.5	▲ 26.7	-3.4
従業員(含む臨時)	▲ 20.7	▲ 20.7	▲ 20.0	0.7	▲ 13.3	6.7

### 4. 小売業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲19.3と前期比でプラス17.1ポイントと大幅に改善した。

項目別では、売上額、採算が改善した。特に売上額はプラス14.4ポイントと大幅に改善した。一方、資金繰りはマイナス13.6ポイントと大幅に悪化した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「県内新車市場が回復基調になっていることに加え、消費税増税前の駆け込み需要により、新車及び中古車販売台数の増加等から増収・増益となった」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「今年の夏の暑さは尋常でなく、売上は予想通り低迷」【茶類小売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況は今期比でマイナス32.3ポイントの▲51.6と厳しい状況を見通している。なお、▲50.0を下回るのは、平成29年1~3月期の▲53.5以来となる。

項目別では、すべての項目で大幅な悪化を見通している。特に売上額はマイナス40.6ポイントの▲62.5と非常に厳しい状況を見通している。なお、小売業が▲50.0を下回るのは、業況と同期の平成29年1~3月期の▲53.6以来となる。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは、「販売単価の減少に加え、過度な値引き競争から収益確保が困難となり、大幅な減収・減益を見込む」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「10~12月分が9月に前倒しで売上が増加している」【自動車部品小売業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 36.4	▲ 34.4	▲ 19.3	17.1	▲ 51.6	-32.3
売上額	▲ 36.3	▲ 31.3	▲ 21.9	14.4	▲ 62.5	-40.6
資金繰り	▲ 18.7	▲ 12.9	▲ 32.3	-13.6	▲ 43.4	-11.1
採算(経常利益)	▲ 30.3	▲ 31.2	▲ 22.5	7.8	▲ 48.3	-25.8
従業員(含む臨時)	▲ 9.1	▲ 18.7	▲ 12.9	-3.8	▲ 16.1	-3.2

## 5. サービス業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲9.4と前期比で悪化した。

項目別では、資金繰り、売上額がプラス幅を縮小、特に資金繰りは前期のプラスからマイナスに転じた。採算も大幅に悪化し、従業員は大幅に不足感を拡大した。

企業からは、「消費税アップの影響が既に出始めている」【食堂】とのコメントがある一方、「能代火力発電プラントの受注がなくなったものの、秋田・能代・七里長浜の風車作業があったことによる売上増加。微増だが単価値上げに伴う作業もあり」【運輸業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況は▲21.9と今期比でマイナス12.5ポイントと大幅な悪化を見通している。

項目別では採算が横ばい、売上額、資金繰りは悪化を見通している。従業員は横ばいを見通している。

企業からは、「お客様は税込の予算で注文する方が多く、今後、ますます採算の悪化が見込まれる」【食堂】とのコメントがある一方、「石膏の販売量、能代火力石炭、融雪剤の増加、政府備蓄米カビチェック作業、木材関連が引き続き好調のため売上増加を見込む」【運輸業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
業況	▲ 3.7	▲ 25.9	▲ 9.4	-5.7	▲ 21.9	-12.5
売上額	7.2	▲ 10.7	0.0	-7.2	▲ 9.1	-9.1
資金繰り	3.7	▲ 7.4	▲ 6.1	-9.8	▲ 15.1	-9.0
採算(経常利益)	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.2	-11.6	▲ 15.2	0.0
従業員(含む臨時)	▲ 29.6	▲ 33.3	▲ 40.6	-11.0	▲ 40.7	-0.1

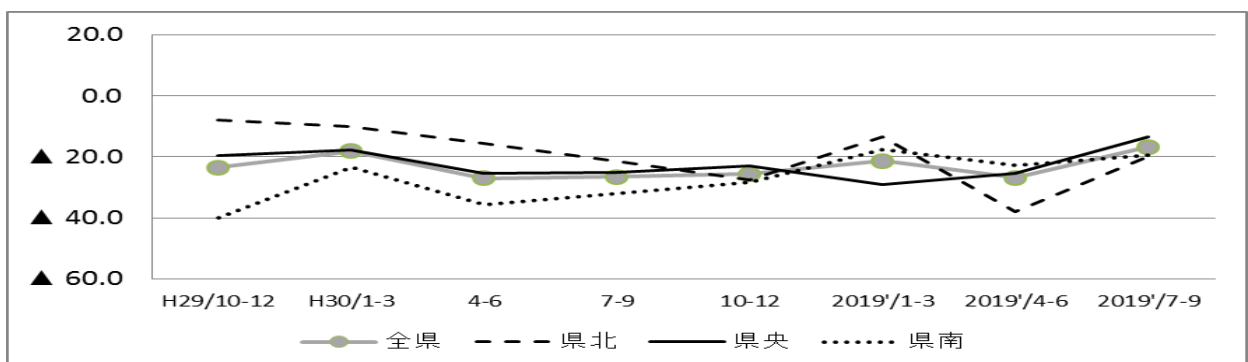
## Ⅲ. 地域別DI値

### 1. 業況

今期(7~9月)のDI値は、前期比で全域が改善した。特に県北、県央はそれぞれプラス18.0ポイント、プラス12.1ポイントと大幅に改善した。

来期の見通し(10~12月)は、今期比で県央、県南が悪化を見通しており、特に県央はマイナス13.1ポイントの大幅な悪化を見通している。一方、県北は改善を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全 県	▲ 26.8	▲ 24.8	▲ 16.8	10.0	▲ 24.0	-7.2
県 北	▲ 38.0	▲ 30.0	▲ 20.0	18.0	▲ 13.8	6.2
県 央	▲ 25.4	▲ 28.3	▲ 13.3	12.1	▲ 26.4	-13.1
県 南	▲ 22.8	▲ 17.9	▲ 19.3	3.5	▲ 26.3	-7.0



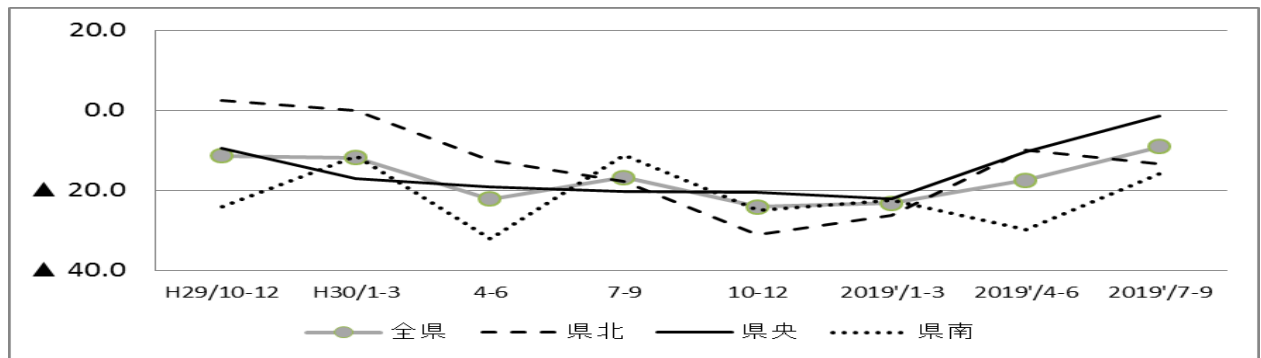


## 2. 売上額・完成工事額

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県南、県央が改善した。特に県南はプラス14.0ポイントと大幅に改善した。一方、県北は悪化した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県央、県南で大幅な悪化を見通す一方、県北は改善を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 17.5	▲ 17.6	▲ 9.0	8.5	▲ 23.5	-14.5
県 北	▲ 10.0	▲ 6.7	▲ 13.4	-3.4	▲ 10.0	3.4
県 央	▲ 10.3	▲ 13.2	▲ 1.4	8.9	▲ 22.9	-21.5
県 南	▲ 29.8	▲ 28.6	▲ 15.8	14.0	▲ 31.6	-15.8

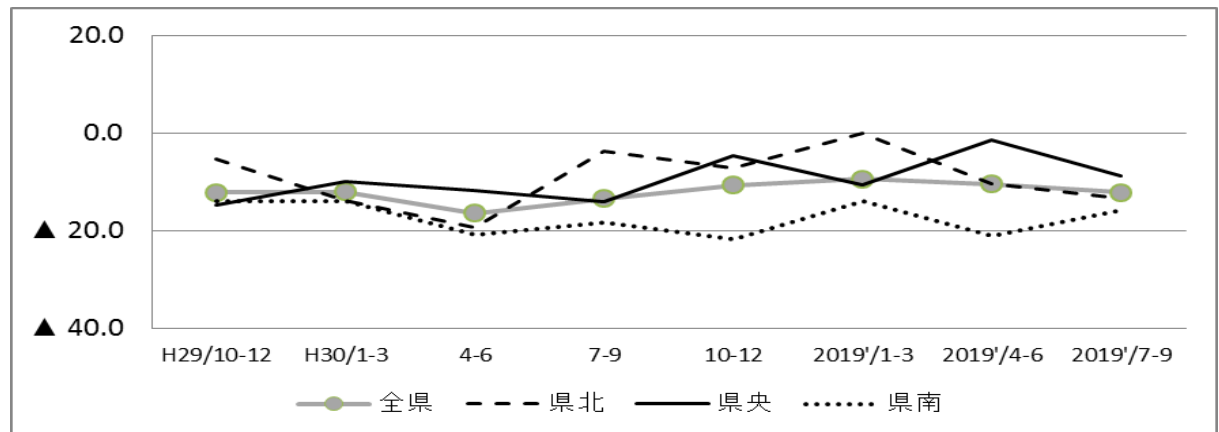


## 3. 資金繰り

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県央、県北が悪化、県南が改善した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で全域の悪化を見通している。特に県南はマイナス12.2ポイントと大幅な悪化を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 10.4	▲ 11.2	▲ 12.2	-1.8	▲ 19.3	-7.1
県 北	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.4	-3.1	▲ 16.6	-3.2
県 央	▲ 1.5	▲ 7.4	▲ 8.7	-7.2	▲ 13.2	-4.5
県 南	▲ 21.1	▲ 16.0	▲ 15.8	5.3	▲ 28.0	-12.2

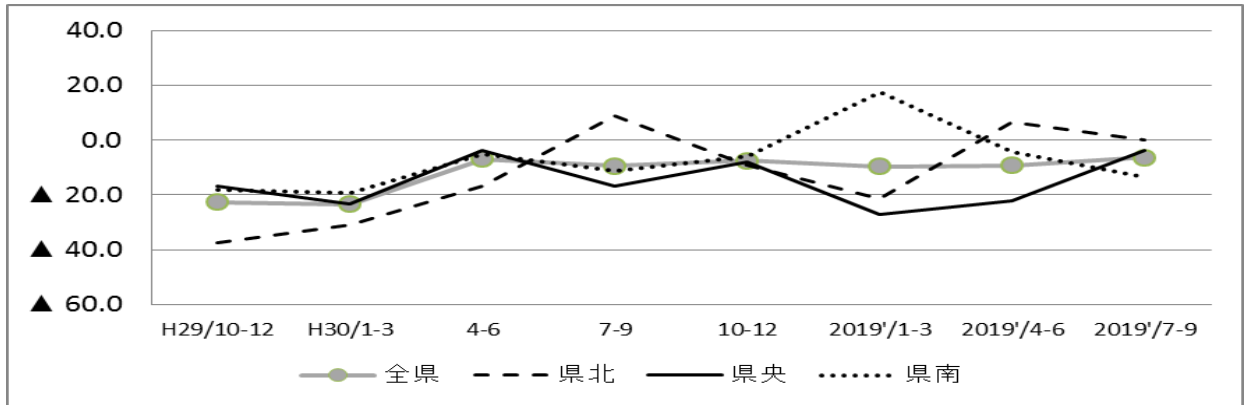


4. 受注残(未消化工事高)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県央がプラス18.6ポイントと大幅に改善する一方、県北はプラス幅を縮小、県南は悪化した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県北が横ばい、県央、県南は大幅な悪化を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全 県	▲ 9.2	▲ 10.8	▲ 6.4	2.8	▲ 17.7	-11.3
県 北	6.6	13.3	0.0	-6.6	0.0	0.0
県 央	▲ 22.2	▲ 18.5	▲ 3.6	18.6	▲ 21.4	-17.8
県 南	▲ 4.3	▲ 17.4	▲ 13.6	-9.3	▲ 22.7	-9.1

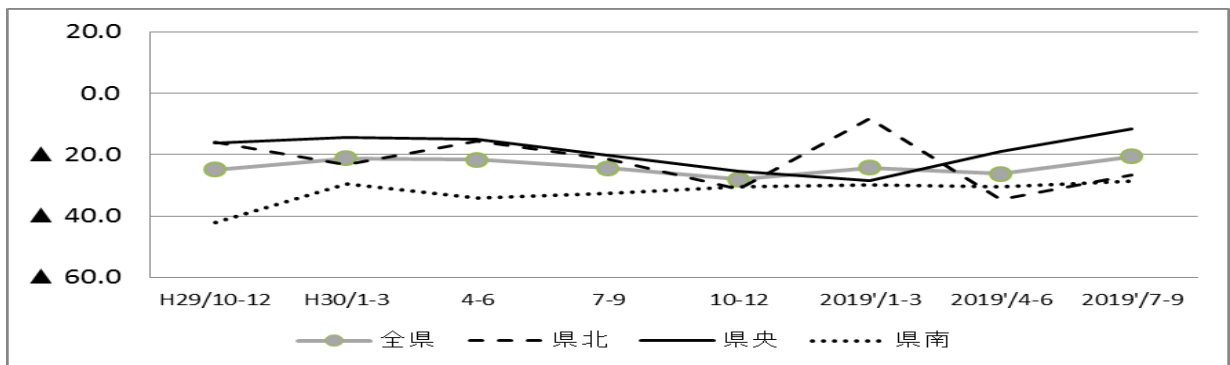


5. 採算(経常利益)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で全域が改善した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県央、県南で悪化を見通している。特に県央はマイナス10.2ポイントと大幅な悪化を見通している。一方、県北はプラス13.4ポイントと大幅な改善の見通しをしている。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全 県	▲ 26.2	▲ 18.9	▲ 20.6	5.6	▲ 23.0	-2.4
県 北	▲ 34.5	▲ 20.0	▲ 26.7	7.8	▲ 13.3	13.4
県 央	▲ 19.1	▲ 11.7	▲ 11.6	7.5	▲ 21.8	-10.2
県 南	▲ 30.4	▲ 26.8	▲ 28.6	1.8	▲ 29.8	-1.2

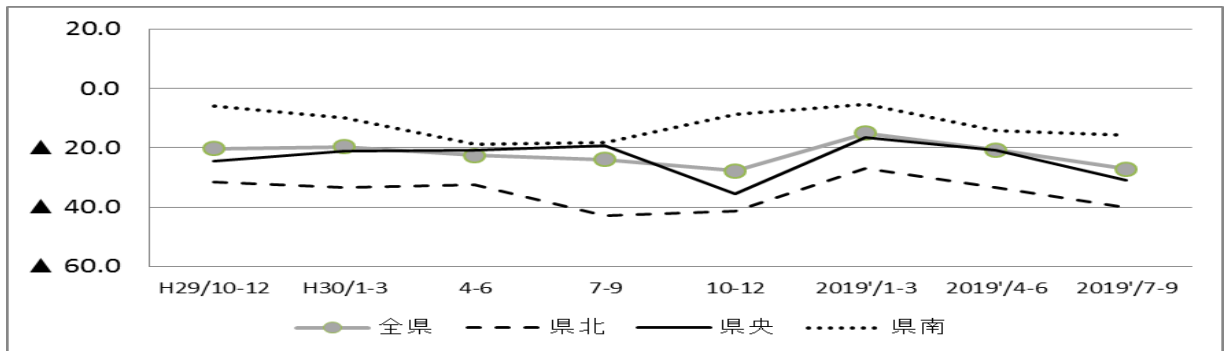


6. 従業員(含む臨時)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で全域が不足感を拡大した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県北が横ばい、県央が不足感の縮小、県南は不足感の拡大を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全 県	▲ 20.8	▲ 25.5	▲ 27.1	-6.3	▲ 26.4	0.7
県 北	▲ 33.4	▲ 43.4	▲ 40.0	-6.6	▲ 40.0	0.0
県 央	▲ 20.9	▲ 23.8	▲ 30.8	-9.9	▲ 22.1	8.7
県 南	▲ 14.1	▲ 17.9	▲ 15.8	-1.7	▲ 24.6	-8.8



IV. 産業別設備投資

全産業における今期(7~9月)の設備投資については、「実施した」とする企業は59件で、前期比で3件増加した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、建設業、サービス業(ともに14件)で建設業は、前期比で3件減少する一方、サービス業は、前期比で4件増加した。全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(24件)、次いで「OA機器」(14件)、「機械・設備・倉庫」(11件)の順となっている。

来期(10~12月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは47件で、今期比で12件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、サービス業(13件)と今期比で1件減少の見通し。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「OA機器」(15件)、次いで「車両・運搬具」(14件)の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(4~6月)				今期(7~9月)					
	実施した(A)	実施しない	来期の計画(7-9月)		実施した(C)	実施しない	前期比(C-A)	来期の計画(10-12月)		
			計画している(B)	計画していない				計画している(D)	計画していない	今期比(D-C)
全 産 業	56	99	53	102	59	98	3	47	110	▲ 12
建 設 業	17	15	15	17	14	17	▲ 3	10	21	▲ 4
製 造 業	14	19	8	25	12	19	▲ 2	7	24	▲ 5
卸 売 業	7	22	12	17	12	18	5	10	20	▲ 2
小 売 業	8	25	9	24	7	25	▲ 1	7	25	0
サ ー ビ ス 業	10	18	9	19	14	19	4	13	20	▲ 1

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	5	1	1	0	1	0	1	0	0	1	2
②建物・工場・店舗	9	11	2	1	1	1	1	2	0	2	5	5
③機械・設備・倉庫	11	8	0	2	6	5	1	0	1	0	3	1
④車両・運搬具	24	14	10	3	2	0	2	3	6	4	4	4
⑤付帯施設	10	7	1	0	4	1	1	2	0	1	4	3
⑥OA機器	14	15	2	5	2	1	7	4	0	1	3	4
⑦福利厚生施設	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
⑧その他	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
合計	73	63	16	13	15	10	13	12	7	8	22	20

V. 地域別設備投資

今期(7~9月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県南、県央が増加、県北は減少した。

設備投資で最も多いのは、全県で「車両・運搬具」(24件)となった。

来期(10~12月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で全域が減少の見通し。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「機械・設備・倉庫」「車両・運搬具」「OA機器」、県央で「車両・運搬具」、県南で「建物・工場・店舗」となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(4~6月)				今期(7~9月)						
	実施した (A)	実施しない	来期の計画(7-9月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(10-12月)			
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)	
全体	56	99	53	102	59	98	3	47	110	▲12	
県北	15	15	12	18	11	19	▲4	9	21	▲2	
県央	25	43	25	43	26	44	1	24	46	▲2	
県南	16	41	16	41	22	35	6	14	43	▲8	

設備内容(複数回答)

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	5	1	1	1	3	1	1
②建物・工場・店舗	9	11	1	1	4	5	5	6
③機械・設備・倉庫	11	8	3	2	6	5	3	1
④車両・運搬具	24	14	4	2	10	10	10	2
⑤付帯施設	10	7	2	0	6	3	2	3
⑥OA機器	14	15	2	2	8	9	3	4
⑦福利厚生施設	1	2	0	1	1	1	0	0
⑧その他	2	1	1	1	0	0	1	0
合計	73	63	14	10	36	36	25	17

## VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、小売業が「需要の停滞」を第1位に挙げている。なお、小売業は「人件費以外の経費の増加」「仕入単価の上昇」「従業員の確保難」も第1位に挙げている。

建設業は「官公需要の停滞」「下請業者の確保難」「従業員の確保難」、サービス業は「従業員の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「下請業者の確保難」「従業員の確保難」、製造業が「原材料価格の上昇」「人件費の増加」「生産設備の不足・老朽化」「熟練技術者の確保難」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「従業員の確保難」、小売業が「需要の停滞」「販売単価の低下・上昇難」、サービス業が「材料等仕入単価の上昇」「需要の停滞」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、人件費以外の経費の上昇、原材料価格・仕入単価の上昇、販売単価の低下・上昇難等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	官公需要の停滞 下請業者の確保難 従業員の確保難		下請業者の確保難		従業員の確保難	
	13.8%	4件	22.2%	6件	25.0%	6件
製造業	需要の停滞		原材料価格の上昇 人件費の増加		生産設備の不足・老朽化 熟練技術者の確保難	
	21.4%	6件	19.2%	5件	19.0%	4件
卸売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難		従業員の確保難	
	48.1%	13件	30.8%	8件	21.7%	5件
小売業	需要の停滞 人件費以外の経費の増加 仕入単価の上昇 従業員の確保難		需要の停滞 販売単価の低下・上昇難		販売単価の低下・上昇難	
	13.3%	4件	22.2%	6件	19.2%	5件
サービス業	従業員の確保難		材料等仕入単価の上昇		需要の停滞	
	30.3%	10件	18.5%	5件	21.7%	5件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	従業員の確保難 下請業者の確保難		熟練技術者の確保難		材料価格の上昇	
	17.3%	14件	14.8%	12件	9.9%	8件
製造業	生産設備の不足。老朽化		原材料価格の上昇		需要の停滞 製品ニーズの変化への対応	
	14.7%	11件	12.0%	9件	10.7%	8件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難	
	25.0%	19件	17.1%	13件	14.5%	11件
小売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難		消費者ニーズの変化への対応 従業員の確保難	
	15.7%	13件	14.5%	12件	9.6%	8件
サービス業	従業員の確保難		利用者ニーズの変化への対応		需要の停滞	
	18.8%	16件	15.3%	13件	14.1%	12件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

Ⅶ. 総括表

秋田県内中小企業景況調査  
全産業別景気判断比較表(DI値)  
(第2四半期:2019年7月~9月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)																
全産業	▲ 26.8	▲ 24.8	▲ 16.8	10.0	▲ 24.0	-7.2	▲ 17.5	▲ 17.6	▲ 9.0	8.5	▲ 23.5	-14.5	▲ 10.4	▲ 11.2	▲ 12.2	-1.8	▲ 19.3	-7.1
建設業	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.7	2.8	▲ 13.4	-3.7	0.0	▲ 3.1	9.7	9.7	▲ 3.2	-12.9	▲ 6.3	▲ 6.2	3.2	9.5	▲ 22.6	-25.8
製造業	▲ 43.7	▲ 24.2	▲ 25.8	17.9	▲ 9.7	16.1	▲ 24.3	▲ 15.2	▲ 19.3	5.0	▲ 16.1	3.2	▲ 18.2	▲ 12.1	▲ 12.9	5.3	▲ 6.5	6.4
卸売業	▲ 34.5	▲ 31.0	▲ 20.0	14.5	▲ 23.3	-3.3	▲ 31.0	▲ 27.6	▲ 13.4	17.6	▲ 26.7	-13.3	▲ 10.3	▲ 17.2	▲ 13.4	-3.1	▲ 10.0	3.4
小売業	▲ 36.4	▲ 34.4	▲ 19.3	17.1	▲ 51.6	-32.3	▲ 36.3	▲ 31.3	▲ 21.9	14.4	▲ 62.5	-40.6	▲ 18.7	▲ 12.9	▲ 32.3	-13.6	▲ 43.4	-11.1
サービス業	▲ 3.7	▲ 25.9	▲ 9.4	-5.7	▲ 21.9	-12.5	7.2	▲ 10.7	0.0	-7.2	▲ 9.1	-9.1	3.7	▲ 7.4	▲ 6.1	-9.8	▲ 15.1	-9.0

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)																
全産業	▲ 9.2	▲ 10.8	▲ 6.4	2.8	▲ 17.7	-11.3	▲ 26.2	▲ 18.9	▲ 20.6	5.6	▲ 23.0	-2.4	▲ 20.8	▲ 25.5	▲ 27.1	-6.3	▲ 26.4	0.7
建設業	9.4	0.0	0.0	-9.4	▲ 9.6	-9.6	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 6.7	8.9	▲ 12.9	-6.2	▲ 43.8	▲ 50.0	▲ 48.4	-4.6	▲ 48.4	0.0
製造業	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 12.9	14.4	▲ 25.8	-12.9	▲ 43.7	▲ 24.2	▲ 35.5	8.2	▲ 12.9	22.6	▲ 3.0	▲ 6.0	▲ 12.9	-9.9	▲ 12.9	0.0
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 35.8	▲ 24.2	▲ 23.3	12.5	▲ 26.7	-3.4	▲ 20.7	▲ 20.7	▲ 20.0	0.7	▲ 13.3	6.7
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 30.3	▲ 31.2	▲ 22.5	7.8	▲ 48.3	-25.8	▲ 9.1	▲ 18.7	▲ 12.9	-3.8	▲ 16.1	-3.2
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.2	-11.6	▲ 15.2	0.0	▲ 29.6	▲ 33.3	▲ 40.6	-11.0	▲ 40.7	-0.1

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。  
:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

## 秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第2四半期:2019年7月~9月)

### 1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	22	85	48	39	65	53	12	113	31	12	34	16	24	75	56	12	89	54
	%	14.2	54.8	31.0	24.8	41.4	33.8	7.7	72.4	19.9	19.4	54.8	25.8	15.5	48.4	36.1	7.7	57.4	34.8
	DI	▲ 16.8			▲ 9.0			▲ 12.2			▲ 6.4			▲ 20.6			▲ 27.1		
建設業	実数	4	20	7	10	14	7	3	26	2	8	15	8	6	16	8	0	16	15
	%	12.9	64.5	22.6	32.3	45.2	22.6	9.7	83.9	6.5	25.8	48.4	25.8	20.0	53.3	26.7	0.0	51.6	48.4
	DI	▲ 9.7			9.7			3.2			0.0			▲ 6.7			▲ 48.4		
製造業	実数	3	17	11	6	13	12	3	21	7	4	19	8	3	14	14	5	17	9
	%	9.7	54.8	35.5	19.4	41.9	38.7	9.7	67.7	22.6	12.9	61.3	25.8	9.7	45.2	45.2	16.1	54.8	29.0
	DI	▲ 25.8			▲ 19.3			▲ 12.9			▲ 12.9			▲ 35.5			▲ 12.9		
卸売業	実数	2	20	8	4	18	8	1	24	5				2	19	9	2	20	8
	%	6.7	66.7	26.7	13.3	60.0	26.7	3.3	80.0	16.7				6.7	63.3	30.0	6.7	66.7	26.7
	DI	▲ 20.0			▲ 13.4			▲ 13.4						▲ 23.3			▲ 20.0		
小売業	実数	6	13	12	9	7	16	1	19	11				6	12	13	3	21	7
	%	19.4	41.9	38.7	28.1	21.9	50.0	3.2	61.3	35.5				19.4	38.7	41.9	9.7	67.7	22.6
	DI	▲ 19.3			▲ 21.9			▲ 32.3						▲ 22.5			▲ 12.9		
サービス業	実数	7	15	10	10	13	10	4	23	6				7	14	12	2	15	15
	%	21.9	46.9	31.3	30.3	39.4	30.3	12.1	69.7	18.2				21.2	42.4	36.4	6.3	46.9	46.9
	DI	▲ 9.4			0.0			▲ 6.1						▲ 15.2			▲ 40.6		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

## 秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第2四半期:2019年7月~9月)

### 2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	18	81	55	29	62	66	13	99	43	8	35	19	21	78	57	10	94	51
	%	11.7	52.6	35.7	18.5	39.5	42.0	8.4	63.9	27.7	12.9	56.5	30.6	13.5	50.0	36.5	6.5	60.6	32.9
	DI	▲ 24.0			▲ 23.5			▲ 19.3			▲ 17.7			▲ 23.0			▲ 26.4		
建設業	実数	4	18	8	8	14	9	0	24	7	6	16	9	4	19	8	0	16	15
	%	13.3	60.0	26.7	25.8	45.2	29.0	0.0	77.4	22.6	19.4	51.6	29.0	12.9	61.3	25.8	0.0	51.6	48.4
	DI	▲ 13.4			▲ 3.2			▲ 22.6			▲ 9.6			▲ 12.9			▲ 48.4		
製造業	実数	5	18	8	6	14	11	4	21	6	2	19	10	5	17	9	4	19	8
	%	16.1	58.1	25.8	19.4	45.2	35.5	12.9	67.7	19.4	6.5	61.3	32.3	16.1	54.8	29.0	12.9	61.3	25.8
	DI	▲ 9.7			▲ 16.1			▲ 6.5			▲ 25.8			▲ 12.9			▲ 12.9		
卸売業	実数	3	17	10	4	14	12	3	21	6				3	16	11	2	22	6
	%	10.0	56.7	33.3	13.3	46.7	40.0	10.0	70.0	20.0				10.0	53.3	36.7	6.7	73.3	20.0
	DI	▲ 23.3			▲ 26.7			▲ 10.0						▲ 26.7			▲ 13.3		
小売業	実数	1	13	17	2	8	22	1	15	14				2	12	17	3	20	8
	%	3.2	41.9	54.8	6.3	25.0	68.8	3.3	50.0	46.7				6.5	38.7	54.8	9.7	64.5	25.8
	DI	▲ 51.6			▲ 62.5			▲ 43.4						▲ 48.3			▲ 16.1		
サービス業	実数	5	15	12	9	12	12	5	18	10				7	14	12	1	17	14
	%	15.6	46.9	37.5	27.3	36.4	36.4	15.2	54.5	30.3				21.2	42.4	36.4	3.1	53.1	43.8
	DI	▲ 21.9			▲ 9.1			▲ 15.1						▲ 15.2			▲ 40.7		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。



秋田県内中小企業景況調査  
地域別景気判断比較表(DI値)  
(第2四半期:2019年7月~9月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通		(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通		(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通	
		(B)			(D)	(D)-(C)		(D)			(D)-(C)	(B)		(D)			(D)-(C)	
全県	▲ 26.8	▲ 24.8	▲ 16.8	10.0	▲ 24.0	-7.2	▲ 17.5	▲ 17.6	▲ 9.0	8.5	▲ 23.5	-14.5	▲ 10.4	▲ 11.2	▲ 12.2	-1.8	▲ 19.3	-7.1
県北	▲ 38.0	▲ 30.0	▲ 20.0	18.0	▲ 13.8	6.2	▲ 10.0	▲ 6.7	▲ 13.4	-3.4	▲ 10.0	3.4	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.4	-3.1	▲ 16.6	-3.2
県央	▲ 25.4	▲ 28.3	▲ 13.3	12.1	▲ 26.4	-13.1	▲ 10.3	▲ 13.2	▲ 1.4	8.9	▲ 22.9	-21.5	▲ 1.5	▲ 7.4	▲ 8.7	-7.2	▲ 13.2	-4.5
県南	▲ 22.8	▲ 17.9	▲ 19.3	3.5	▲ 26.3	-7.0	▲ 29.8	▲ 28.6	▲ 15.8	14.0	▲ 31.6	-15.8	▲ 21.1	▲ 16.0	▲ 15.8	5.3	▲ 28.0	-12.2

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通		(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通		(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通	
		(B)			(D)	(D)-(C)		(D)			(D)-(C)	(B)		(D)			(D)-(C)	
全県	▲ 9.2	▲ 10.8	▲ 6.4	2.8	▲ 17.7	-11.3	▲ 26.2	▲ 18.9	▲ 20.6	5.6	▲ 23.0	-2.4	▲ 20.8	▲ 25.5	▲ 27.1	-6.3	▲ 26.4	0.7
県北	6.6	13.3	0.0	-6.6	0.0	0.0	▲ 34.5	▲ 20.0	▲ 26.7	7.8	▲ 13.3	13.4	▲ 33.4	▲ 43.4	▲ 40.0	-6.6	▲ 40.0	0.0
県央	▲ 22.2	▲ 18.5	▲ 3.6	18.6	▲ 21.4	-17.8	▲ 19.1	▲ 11.7	▲ 11.6	7.5	▲ 21.8	-10.2	▲ 20.9	▲ 23.8	▲ 30.8	-9.9	▲ 22.1	8.7
県南	▲ 4.3	▲ 17.4	▲ 13.6	-9.3	▲ 22.7	-9.1	▲ 30.4	▲ 26.8	▲ 28.6	1.8	▲ 29.8	-1.2	▲ 14.1	▲ 17.9	▲ 15.8	-1.7	▲ 24.6	-8.8

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

## 秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第2四半期：2019年7月～9月）

### 1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	22	85	48	39	65	53	12	113	31	12	34	16	24	75	56	12	89	54
	%	14.2	54.8	31.0	24.8	41.4	33.8	7.7	72.4	19.9	19.4	54.8	25.8	15.5	48.4	36.1	7.7	57.4	34.8
	DI	▲ 16.8			▲ 9.0			▲ 12.2			▲ 6.4			▲ 20.6			▲ 27.1		
秋田	実数	13	33	22	21	27	22	7	49	13	6	15	7	16	29	24	5	37	26
	%	19.1	48.5	32.4	30.0	38.6	31.4	10.1	71.0	18.8	21.4	53.6	25.0	23.2	42.0	34.8	7.4	54.4	38.2
	DI	▲ 13.3			▲ 1.4			▲ 8.7			▲ 3.6			▲ 11.6			▲ 30.8		
大館	実数	2	11	7	4	9	7	1	15	4	2	5	1	3	9	8	0	9	11
	%	10.0	55.0	35.0	20.0	45.0	35.0	5.0	75.0	20.0	25.0	62.5	12.5	15.0	45.0	40.0	0.0	45.0	55.0
	DI	▲ 25.0			▲ 15.0			▲ 15.0			12.5			▲ 25.0			▲ 55.0		
能代	実数	2	5	3	3	3	4	0	9	1	0	3	1	1	5	4	0	9	1
	%	20.0	50.0	30.0	30.0	30.0	40.0	0.0	90.0	10.0	0.0	75.0	25.0	10.0	50.0	40.0	0.0	90.0	10.0
	DI	▲ 10.0			▲ 10.0			▲ 10.0			▲ 25.0			▲ 30.0			▲ 10.0		
大曲	実数	2	15	3	4	11	5	0	19	1	1	5	1	2	14	4	2	9	9
	%	10.0	75.0	15.0	20.0	55.0	25.0	0.0	95.0	5.0	14.3	71.4	14.3	10.0	70.0	20.0	10.0	45.0	45.0
	DI	▲ 5.0			▲ 5.0			▲ 5.0			0.0			▲ 10.0			▲ 35.0		
横手	実数	3	10	9	6	4	12	3	11	8	2	3	5	2	7	12	5	11	6
	%	13.6	45.5	40.9	27.3	18.2	54.5	13.6	50.0	36.4	20.0	30.0	50.0	9.5	33.3	57.1	22.7	50.0	27.3
	DI	▲ 27.3			▲ 27.2			▲ 22.8			▲ 30.0			▲ 47.6			▲ 4.6		
湯沢	実数	0	11	4	1	11	3	1	10	4	1	3	1	0	11	4	0	14	1
	%	0.0	73.3	26.7	6.7	73.3	20.0	6.7	66.7	26.7	20.0	60.0	20.0	0.0	73.3	26.7	0.0	93.3	6.7
	DI	▲ 26.7			▲ 13.3			▲ 20.0			0.0			▲ 26.7			▲ 6.7		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

## 秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第2四半期：2019年7月～9月）

### 2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	18	81	55	29	62	66	13	99	43	8	35	19	21	78	57	10	94	51
	%	11.7	52.6	35.7	18.5	39.5	42.0	8.4	63.9	27.7	12.9	56.5	30.6	13.5	50.0	36.5	6.5	60.6	32.9
	DI	▲ 24.0			▲ 23.5			▲ 19.3			▲ 17.7			▲ 23.0			▲ 26.4		
秋田	実数	11	28	29	14	26	30	10	39	19	4	14	10	13	28	28	6	41	21
	%	16.2	41.2	42.6	20.0	37.1	42.9	14.7	57.4	27.9	14.3	50.0	35.7	18.8	40.6	40.6	8.8	60.3	30.9
	DI	▲ 26.4			▲ 22.9			▲ 13.2			▲ 21.4			▲ 21.8			▲ 22.1		
大館	実数	2	12	6	4	11	5	2	12	6	2	5	1	3	11	6	0	9	11
	%	10.0	60.0	30.0	20.0	55.0	25.0	10.0	60.0	30.0	25.0	62.5	12.5	15.0	55.0	30.0	0.0	45.0	55.0
	DI	▲ 20.0			▲ 5.0			▲ 20.0			12.5			▲ 15.0			▲ 55.0		
能代	実数	2	5	2	3	2	5	0	9	1	0	3	1	2	5	3	0	9	1
	%	22.2	55.6	22.2	30.0	20.0	50.0	0.0	90.0	10.0	0.0	75.0	25.0	20.0	50.0	30.0	0.0	90.0	10.0
	DI	0.0			▲ 20.0			▲ 10.0			▲ 25.0			▲ 10.0			▲ 10.0		
大曲	実数	1	14	5	2	9	9	0	16	4	0	6	1	1	14	5	0	10	10
	%	5.0	70.0	25.0	10.0	45.0	45.0	0.0	80.0	20.0	0.0	85.7	14.3	5.0	70.0	25.0	0.0	50.0	50.0
	DI	▲ 20.0			▲ 35.0			▲ 20.0			▲ 14.3			▲ 20.0			▲ 50.0		
横手	実数	2	13	7	4	9	9	1	13	8	2	3	5	1	14	7	4	12	6
	%	9.1	59.1	31.8	18.2	40.9	40.9	4.5	59.1	36.4	20.0	30.0	50.0	4.5	63.6	31.8	18.2	54.5	27.3
	DI	▲ 22.7			▲ 22.7			▲ 31.9			▲ 30.0			▲ 27.3			▲ 9.1		
湯沢	実数	0	9	6	2	5	8	0	10	5	0	4	1	1	6	8	0	13	2
	%	0.0	60.0	40.0	13.3	33.3	53.3	0.0	66.7	33.3	0.0	80.0	20.0	6.7	40.0	53.3	0.0	86.7	13.3
	DI	▲ 40.0			▲ 40.0			▲ 33.3			▲ 20.0			▲ 46.6			▲ 13.3		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。  
 : 従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参考

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴 (2019年7~9月)

<b>1 建設業</b>	
・受注工事は小規模になっているが、受注状況は幾分活況である【一般土木建築工事業】	県央
・土木工事では工事変更により採算が影響する【一般土木建築工事業】	
・天気に恵まれ、工事が順調だったのと現場管理がしっかりしていてロスが少なかった【土木工事業】	
・完成工事額について、消費税増税前の若干の影響があるのか増加した【塗装工事業】	
・親会社からの入金が遅れているため、はっきりした工事額がつかめない【一般電気工事業】	
・工事件数の減少による完成工事額減少【建設業】	県南
<b>2 製造業</b>	
・昨年の記録的な猛暑による需要減の裏返しと、10月の消費税増税前の仮需などプラス材料はあったものの、業務用の低迷や日韓関係悪化による輸出の減少と相殺され、前年比微増で着地するに至った【清酒製造業】	県央
・前年の特需の反動による売上減少【印刷業】	
・仕事量が少ない【印刷業】	
・例年は閑散期であるが、今年度については春以降、順調な受注ができています【金属製品製造業】	
・消費税増税前の駆け込み需要から9月の売上が増加した【綱製造業】	県北
・消費税増税の関係で仮需が発生。10~12月の動きがどうなるのか？【清酒製造業】	
・大きな変動なし【花火製造】	
・ふるさと納税が少ない。前年の25%しかない【乾麺製造業】	県南
・大型物件の減少による売上減少【印刷業】	
・消費税増税前の仮需により売上増加【清酒製造業】	
<b>3 卸売業</b>	
・軽減税率対応でシステムの買い替えが多かった【電気事務機械器具卸売業】	県央
・箱物の公共工事の減少が続いている。民間の設備投資も停滞している【電気工事材料卸売業】	県南
<b>4 小売業</b>	
・消費税増税前のお客様が多かった【時計・眼鏡・光学機械小売業】	県央
・今年の夏の暑さは尋常でなく、売上は予想通り低迷【茶類小売業】	
・消費税増税前の駆け込み需要が発生した【自動車部品小売業】	
・売上は増加したが10月から不安である【自動車部品小売業】	
・県内新車市場が回復基調になっていることに加え、消費税増税前の駆け込み需要により、新車及び中古車販売台数の増加等から増収・増益となった【自動車小売業】	県北
・タイヤの値上げ前及び消費税増税前の特需による売上増加【タイヤ販売】	
・同業の大企業進出で大変である。助けてください【酒類販売】	
・増収・増益【燃料小売業】	県南
<b>5 サービス業</b>	
・季節の関係により売上ダウン【普通洗濯業】	県央
・能代火力発電プラントの受注がなくなったものの、秋田・能代・七里長浜の風車作業があったことによる売上増加。微増だが単価値上げに伴う作業もあり【運輸業】	
・臨時の仕事が少なく、売上の増加があまり見込めなかった【ビルメンテナンス業】	
・消費税アップの影響が既に出始めている【食堂】	県北
・空調不良による販売制限を実施し、売上減少【ホテル業】	県南
・売上は前期と同じだがそもそも足りない【写真館】	
・ほぼ昨年と同じ【広告代理店】	

## Ⅱ 来期の見通し(2019年10～12月)

<b>1 建設業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末頃に幾分大型工事の受注に向けて営業活動中である【一般土木建築工事業】</li> <li>・ 数年前の災害工事が終わり、今回の他県での災害状況により全国的な見直し工事が出てくるのでは？【一般土木建築工事業】</li> <li>・ 下請に出している工事があるので赤字の工事はないと思う。天気の具合により工事が進まなければ経費が多くなるのでどうなるか不安である【土木工事業】</li> <li>・ 夏からの未成（公共）工事があり、工事額は増加の予想【塗装工事業】</li> <li>・ 今期より工事額も増え、改善する見込【一般電気工事業】</li> </ul>	県央
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状で特に変わりなし【総合建設業】</li> </ul>	県北
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬期間、除雪作業稼働率の増減による売上高への影響が気になる【総合建築工事業】</li> <li>・ 昨年が受注過多、未消化工事の状態だったが、是正され、適正な状態に戻りつつある。人手不足は相変わらず深刻だ【板金工事業】</li> </ul>	県南
<b>2 製造業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘビーユーザーの高齢化による市場縮小基調に加え、消費税増税による消費者の買い控えや度重なる台風災害が及ぼす消費への悪影響が懸念される【清酒製造業】</li> <li>・ 消費税引上げの価格転嫁が十分できるかが不安材料【印刷業】</li> <li>・ 受注見込あり【印刷業】</li> </ul>	県央
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来期は年末に向けて例年通り需要が増加する予定で、既に年内～年明けの受注は確定済【金属製品製造業】</li> <li>・ 先行き仕事が出るか予測できない状況下で働き方改革により受注量を増やせない【金属製品製造業】</li> <li>・ 消費税増税前の駆け込み需要の反動から売上減少する見込【綱製造業】</li> </ul>	県央
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年通りを見込む【花火製造】</li> <li>・ 売上は減少しても内製化や仕入先を変えてコストダウンする【乾麺製造業】</li> <li>・ 地域商圏の仕事の減少による売上減少を見込む【印刷業】</li> <li>・ 消費税増税後の売上減を見込む【清酒製造業】</li> <li>・ 4月で完売だった製品が新物として11月から販売するので売上が期待できる【漬物製造】</li> </ul>	県南
<b>3 卸売業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費税増税の影響は少なからずあると思う【織物卸売業】</li> <li>・ 食品業界にも増税の影響は少なからず出てくると思う【食肉卸売業】</li> <li>・ Windows 7のサポート終了によるパソコンの買い替えが多い【電気事務機械器具卸売業】</li> <li>・ 子供達の好きなくじや玩具類等で増税の影響が出てきている【玩具・菓子卸売業】</li> </ul>	県央
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減による売上不足、仕入価格の高騰を見込む【青果・水産物卸売業】</li> </ul>	県北
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕入価格と運賃の上昇による採算の悪化を見込む【左官資材卸売】</li> </ul>	県南
<b>4 小売業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費税増税による値上げ後落ち着いた【時計・眼鏡・光学機械小売業】</li> <li>・ 消費税のアップ、災害の心理的影響等購買意欲は弱いままで推移すると思う【茶類小売業】</li> <li>・ 10～12月分が9月に前倒しで売上が増加している【自動車部品小売業】</li> <li>・ 消費税10%は売上に響く【自動車部品小売業】</li> <li>・ 販売単価の減少に加え、過度な値引き競争から収益確保が困難となり、大幅な減収・減益を見込む【自動車小売業】</li> </ul>	県央
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政が無視するから倒産よりなし【酒類販売】</li> </ul>	県北
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減収・不変益を見込む【燃料小売業】</li> </ul>	県南

5 サービス業	
・ 景気悪化の見通し【リネンサプライ業】	県央
・ 元売りや税金の値上げにより売上ダウンを見込む【普通洗濯業】	
・ 石膏の販売量、能代火力石炭、融雪剤の増加、政府備蓄米カビチェック作業、木材関連が引き続き好調のため売上増加を見込む【運輸業】	
・ 既存の顧客中心に値上げをお願いしているが、まだ成果が出ていない【ビルメンテナンス業】	
・ お客様は税込の予算で注文する方が多く、今後、ますます採算の悪化が見込まれる【食堂】	県北
・ 前期と同じ位と思う【自動車整備業】	県南
・ 次々と商店街で閉店があり、客足の減少が激しく厳しいと思われる【写真館】	
・ 受注が多く、売上増加の見込【広告代理店】	